

調査研究（海外視察）

資料3

海外調査の目的 インクルーシブ教育について先進的に実践している海外における制度や取組等について、海外の学校現場の視察や行政機関との意見交換等をとおして調査し、障害のある子もない子と同じ場所で共に学ぶ取組について知見を得るため。

R6視察成果 「個別最適な学び」を支える環境

- ・ 通常学級に特別な支援が必要な子どもを戻そうとする教員意識と制度
 - ・ 健康チーム、相談員の配備
 - ・ 教材教具の貸与制度（イヤーマフ等）
 - ・ グループルーム（小教室）の設置
 - ・ マルメ市との交流の土台作り
- 等

交流の理由

- ・ インクルーシブ教育
様々な価値観（障害・文化等）のある者たちが共に学ぶ教育。
- ・ 交流により、世界の多様性について体験的に学ぶことをとおし、多様な価値観や背景を尊重する心を育て、ステレオタイプの払拭と実践的な言語及び非言語スキルの向上を期待。

マルメ市である理由

- ・ 視察の結果、本県の実践に大変参考となる取組（左記）があり、積極的な反応を見せている。
- ・ 同国3番目人口。大学新設するなど教育に注力。移民が多い地域。

R7視察メンバー

- R6 教育次長、義務教育課長、特別支援教育課長等による広域の調査と今後の交流の橋頭堡の構築。
- R7 義務教育課長、特別支援教育課長、上陽小校長等実務者レベル
- ・ 調査の深化と交流の効果向上を目的
 - ・ 制度構築の手法や教育活動の実践方法、教員研修や保護者理解、課題等を具体的に調査
 - ・ 学校間の教育的ねらいをすり合わせ、学校間交流の効果を高める。

効果 障害のあるなしに関わらず多様な価値観や背景を尊重する子どもたちを育てる群馬の新しい教育制度とそれを効果的に実践する授業についての研究を加速させることが期待できる。